

TUKO PAMOJA VOL.5

HABARI

南西部クワヘリ

近隣で活動する隊員がクワヘリパーティー（送別会）を開いてくれました。野球にアツイ私を送り出すために野球の試合をアレンジしてくれました。協力隊員 vs Londoni S.S. 試合は11-9で協力隊チームの勝利。なんとか野球先進国の体裁を保つことができました。ギリギリでしたが（笑）休日に集まってくれた生徒たちと活動の合間をぬって来てくれた隊員に感謝です。



第2回タンザニア甲子園

12月6,7日に第2回タンザニア甲子園が開催されました。結果は2回戦敗退。タンザニア No.1を目指して毎日練習に励んでいただけに悔しさは前回大会の比ではありませんでした。生徒も僕も涙をこらえることはできませんでした。

大会後にナショナルチームのメンバーが発表され、本校から2名が選出されました。彼らはケニアで行われたU-18アフリカ予選に出場し、銅メダルを獲得しました。



前回「あと2回は…」と言っていたにも関わらず、結局1回しか準備することができませんでした。すみません...5回にわたる活動レポートもこれで最後となりました。最後のテーマは「タンザニアの未来」と「協力隊の魅力」についてお伝えしたいと思います。

東アフリカで急成長を続けるタンザニア。様々な問題の残る国ではありますが、「タンザニアの未来は明るい!」ということを実体験を基に考察していきます。またそれに従事する協力隊の魅力もお伝えしていきます。

タンザニアの未来

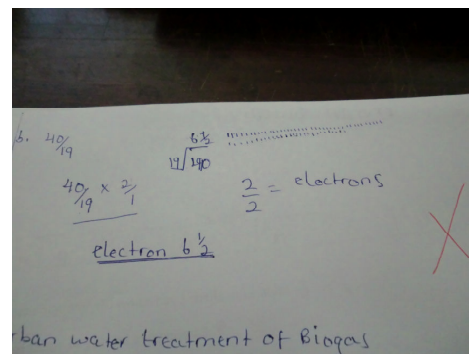
2013年のタンザニアの経済成長率は7.0%です。この数値はアフリカの平均を上回っています。最近では南東部ムトワラ州で天然ガスが発見され、バガモヨ地区に中国企業を中心に東アフリカ最大級の港が建設される予定です。今後のタンザニア経済はさらに潤っていくことが予想されています。しかし、その恩恵が地方まではなかなか行き届いていないのが現状です。



主都ダルエスサラーム

タンザニアの今後の経済発展には教育が不可欠になってきます。タンザニア政府の掲げる7つの優先事項に教育が含まれていることからそれは明らかです。この2年間の活動の中で基礎学力が低いことが課題であると感じました。大人でも計算ができない、もしくは遅い人が多く、小数の計算や分数の計算になるともはや壊滅状態です。語学に関しても英語の勉強を小学生からしているにも関わらず、基本的な会話もままならない人が多いです。外資系企業が多いこの国において、このことは将来の選択肢を非常に狭めていることになります。

私は生徒たちに「読み・書き・計算」の重要性を説いてきました。これらの基礎的学力を身につけることで、彼らの将来はより明るいものになると確信しています。



生徒の解答用紙

協力隊の魅力

「どうして協力隊に参加したの?」とよく聞かれます。正直、参加のきっかけは他愛もないことです。「国際協力に貢献したい!」という強い気持ちを持って参加する人は稀だと思います。少なくとも私はそうでした。しかし、協力隊に参加して本当に良かったと思っています。それは何故か?

多くの出会いがあったこと。現地にどっぷり浸かって生活することで、旅行では築くことができない人間関係をタンザニア人と築くことができました。タンザニアで働く多くの日本人にも会うことができました。JICA、大使館はもちろん、日系企業や国連関係の方にもお会いしました。他国のボランティアと交流する機会もたくさんありました。こういった方々は日本社会で生活する上で出会うことはまずないでしょう。貴重なお話を聞くことができたり、一緒に活動したりしたことは、私の人生に大きく影響したと思います。異文化を知ることができた、途上国の実情を知ることができた等、人によって様々だとは思いますが、私にとっての協力隊の魅力とは「多くの出会い」です。



市場の兄ちゃん



韓国のボランティア KOICA

5回にわたってお届けしてきた活動レポートですが、いかがだったでしょうか? 日本の皆様に少しでもタンザニアの魅力、協力隊の魅力をお伝えすることができたのであれば本望です。辛いこともたくさんありましたが、嬉しいことや楽しいこともたくさんあった2年間でした。帰国後はタンザニアで得た経験を日本社会に少しでも役立てることができるように努めていきたいと思っています。ではでは、またどこかでお会いしましょう。

ASANTENI SANA!